

令和6年度 学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段を適切に選択・活用し、円滑に人と関わる力の育成を図る。 ・各部が連携し一貫した教育を実践し、社会で生かせる力や自ら行動する力を育てる。 ・積極的に情報発信をし、地域に開かれた学校づくりを推進する。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを推進したり、快適で温かみのある学校環境整備を図ったりする。 ・時代に合わせて学校現場における業務の在り方をリニューアルし、学校全体の多忙化解消を図るなど、働きやすい環境づくりを推進する。 	
担当(項目)	具体的方策	留意事項
<p>幼稚部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや体験を通して、幼児の発達に応じた生活習慣、生活言語の習得を図る。 ・わかりやすく、安全に楽しく活動できる環境を整え、幼児が自分で考え、選び、決める機会を多く設けるなど、発達に必要な経験を積み重ねられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の言動や発信を受け止め、それに関連する絵本や道具、遊びを提供することで、体験と言葉を結び付けつけられるようにする ・幼児の実態に合わせた課題と支援方法を明確にし、様々な活動を通して自信をもって行動できるように支援する。
<p>小学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学び」に焦点を当てた実践を行う。 ・実態に応じたコミュニケーションスキルの育成を図る。 ・主体的に行動できるような学習場面の設定を行う。 ・積極的に情報を発信し、保護者や地域に信頼される学校を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元計画を「見える化」するマネジメントシート等を活用し、複数の知識や知識と経験をつなげて考える指導を心掛ける。 ・自立活動の6区分27項目から児童の実態を捉え、聴覚障害やその他の障害特性に応じたスキルの獲得を目指す。 ・学習場面における自己選択や自己決定を大切に、児童の主体性を伸ばす指導を心掛ける。 ・ブログやお知らせを活用して情報を発信し、保護者との対話を通して理解を得ながら実践を進める。

<p>中学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習評価の見直しやカリキュラム・マネジメント等を通し、「主体的・対話的で深い学び」の実践につなげる。 ・生徒が自己選択・自己決定して主体的に活動する学習場面を設定する。 ・異学年や実社会の人々と接する機会をもつように学習場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の組立やヤマ場の設定及び評価の工夫につなげるようにマネジメントシート等の活用を通して授業改善を図り、より良い授業実践につなげる。 ・話し合い活動や協働活動を意図的に設定することで生徒の深い学びの実践を図る。 ・主体的に行動し、学習した内容を実生活に生かす力を育む。 ・異年齢の多くの人と関わる機会を適切なコミュニケーション手段を考える一助としてコミュニケーション力の向上につなげる。
<p>高等部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の自分をイメージし、これからの自分にとって必要になる力は何か、それを習得するためにどのような手立てが必要なのかを自身で見付けられるようにする。 ・地域の人に関心をもち、自ら人に関わっていく主体性を身に付ける。コミュニケーション力を伸ばし、会話することの楽しさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録や青春メッセージの評価表等を振り返って、自身の気付きにつなげる。 ・文章の表現力や指先の巧緻性を伸ばすために、意識して課題に取り組む時間を設定するように促す。 ・地域への働き掛けの意図を発信し、協力を得る。
<p>いじめ防止等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の存在感や自尊感情が満足できるように、良いところや頑張っているところを即時評価する。また、互いの良いところを認め合えるような機会を作る。 ・日頃から子どもたちの様子を確認して、小さなサインも見逃さないようにする。気になる様子があれば、すぐに学校全体として対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・賞賛や感謝の気持ちの伝え方などを、関わる教職員でそろえるようにする。 ・SC等の専門職に相談するなど、学校組織として対応できるようにする。
<p>勤務時間の適切な管理及び長時間労働による健康障害防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の業務を複数の職員で担当できるようにして、フォロー体制などの校内協力体制を推進する。 ・会議の内容を精選し、短時間で済ませるように効率化を図る。また、ICT機器を活用して、個の状況に合わせた情報共有ができるように進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談しやすい雰囲気づくりを推進し、円滑な人間関係の構築を図る。 ・論点の明確化や柔軟な情報共有ができるように、ICT機器の活用を推進する。
<p>学校関係者評価を実施する 主な評価項目</p>	<p>幼稚部、小学部、中学部、高等部</p>	